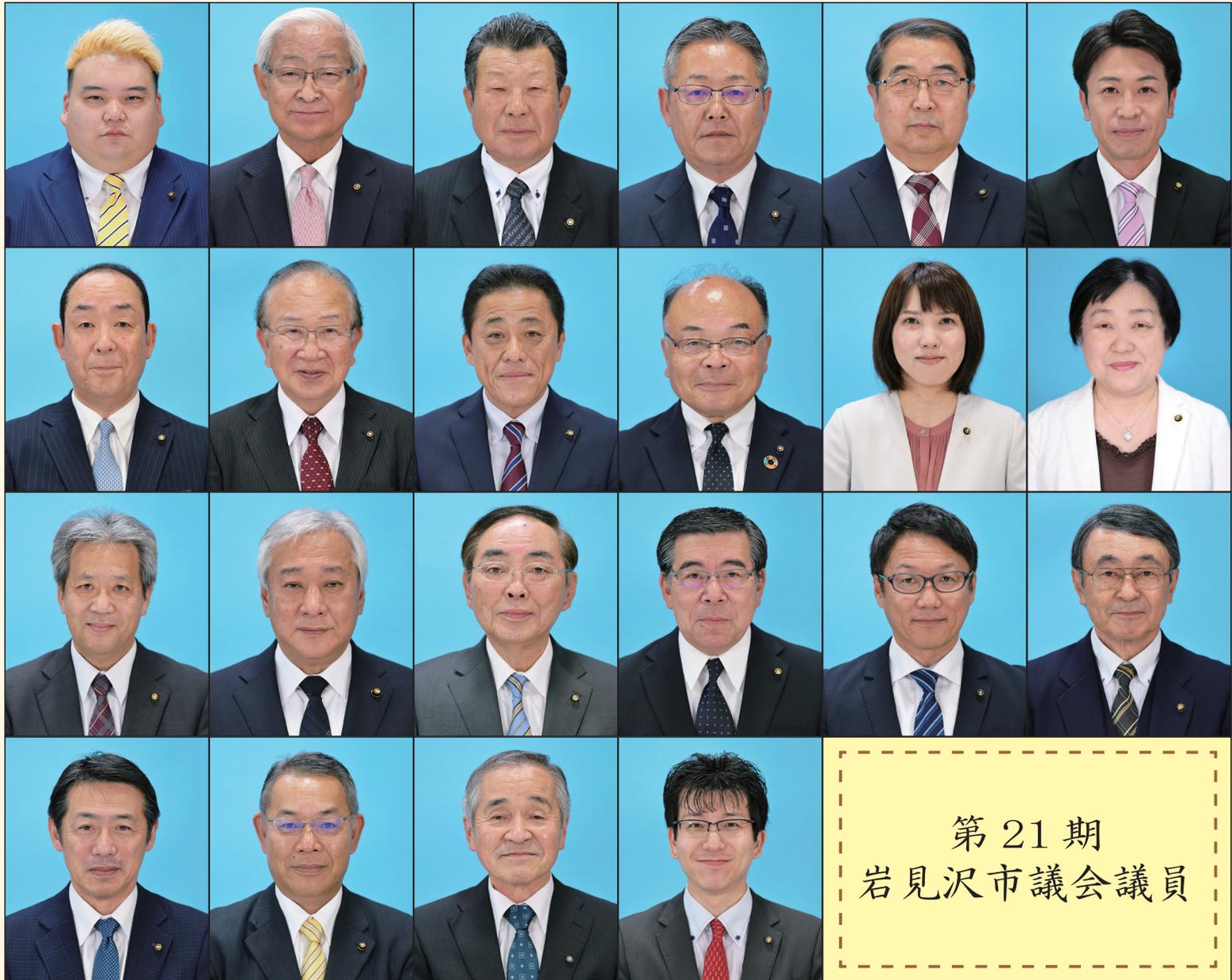


# いわみざわ 市議会だより



第21期  
岩見沢市議会議員

## 今号の主な内容

- 委員会の構成 ..... 2
- 質問項目 ..... 3
- 一般質問 ..... 4
- 審議結果 ..... 10
- 正副議長就任あいさつ ..... 11
- 全国市議会議長会表彰・編集後記 ..... 12

## 令和5年第3回定例会は

**9** 月上旬  
開会予定です。

定例会はどなたでも傍聴できます。  
詳しい日程は市議会ホームページを  
ご覧ください。

# 経済建設

常任委員会



市政クラブ  
太田 博之



市民クラブ  
武田 貞行

【委員長】



民優会  
大和 勝



みどりの会  
河合 清秀

【副委員長】



公明党  
斉須 正友



市民クラブ  
新井 優也



市民クラブ  
木村 光宏

# 民生

常任委員会



市民クラブ  
豊岡 義博



民優会  
日向 清一

【委員長】



市政クラブ  
野尻 清



日本共産党議員団  
山田 靖廣

【副委員長】



みどりの会  
松本 一郎



市民クラブ  
伊澤 幸信



市民クラブ  
枝廣 晴基

# 総務

常任委員会



市民クラブ  
峯 泰教



市民クラブ  
宮下 透

【委員長】



市政クラブ  
石黒 武美



公明党  
猪口 満雅

【副委員長】



民優会  
坂井 照美



市民クラブ  
坂井 秋子



日本共産党議員団  
上田 久司



市民クラブ  
平野 義文

# 委員会の構成

## 議会運営委員会

【委員長】

豊岡 義博

【副委員長】

石黒 武美

木村 光宏

武田 貞行

大和 勝

猪口 満雅

山田 靖廣

松本 一郎

## 新病院建設特別委員会

【委員長】

平野 義文

【副委員長】

太田 博之

伊澤 幸信

枝廣 晴基

坂井 秋子

宮下 透

石黒 武美

大和 勝

斉須 正友

山田 靖廣

河合 清秀

## 総合戦略特別委員会

【委員長】

木村 光宏

【副委員長】

猪口 満雅

新井 優也

武田 貞行

豊岡 義博

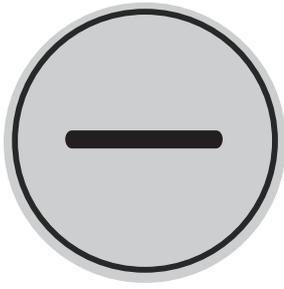
野尻 清

坂井 照美

日向 清一

上田 久司

松本 一郎



第2回定例会において、市の施策の状況や方針等について、12人の議員が市長、教育長などに対して一般質問を行いました。紙面の都合上、要約し掲載いたします。

## 一般質問項目一覧

※大項目のみ掲載

### みどりの会 松本 一郎 議員

1. 通学・通勤経路の安全対策について

### 民優会 日向 清一 議員

1. 道路交通法改正に対する岩見沢市の対応について

### 市民クラブ 武田 貞行 議員

1. 新交通システムの実証試験について
2. 令和5年統一地方選挙について

### みどりの会 河合 清秀 議員

1. 定住人口減少の対策について
2. ラピダスの千歳市に工場建設について

### 市民クラブ 木村 光宏 議員

1. 空き家等の対策について
2. 複数の管理者による道路施設の管理状況について

### 市民クラブ 坂井 秋子 議員

1. 部活動の地域移行について

### 市民クラブ 新井 優也 議員

1. 岩見沢市の除排雪体制について
2. 経済的な事情をお持ちの方向けに無料配布している生理用品について

### 日本共産党議員団 山田 靖廣 議員

1. J R 函館本線・幌向東3号線踏切拡幅について
2. 学校における新型コロナウイルス感染症対策について
3. 教職員の働き方改革について

### 公明党 斉須 正友 議員

1. 企業の奨学金返還支援について
2. 企業版ふるさと納税について

### 公明党 猪口 満雅 議員

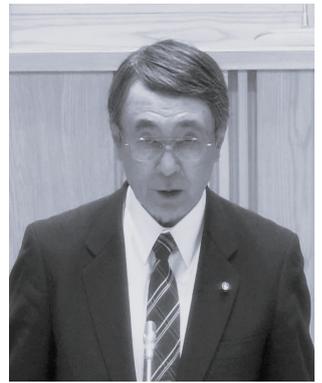
1. 物価高対策について
2. デジタル田園都市国家構想交付金について
3. 車椅子対応の市営住宅について
4. 災害時の避難所について

### 日本共産党議員団 上田 久司 議員

1. 新型コロナウイルス感染症対策について
2. 物価高騰、電気代値上げ等への対策について
3. 少子化対策のさらなる取組について

### 民優会 大和 勝 議員

1. 高齢者のより暮らしやすい環境の整備について



会 松本 一郎  
みどりの会

通学・通勤経路の  
安全対策について

交通安全

【市長】 岩見沢市交通安全計画に基づき、岩見沢市交通安全推進委員会を中心に関係機関等と連携し交通安全運動を実施しており、街頭啓発や旗の波、市広報等を活用した啓発、交通安全市民の集いの開催など、交通安全意識の高揚を図っている。

自転車のヘルメット努力義務化については、本年5月に空知総合振興局や関係団体と連携し、駅前で高校生などの自転車利用者に対しチラシを配布し街頭啓発を実施した。自転車損害賠償保険の加入については、児童・生徒の保護者や町会等で行う高齢者向け交通安全教室で、加入の必要性を啓発。各学校での交通安全指導等では運転マナーや交通安全を呼びかけている。

自転車道や専用通行帯の設置は、用地確保や整備費用、降雪による路

面標示の消失など課題が多い。市の幹線道路等では積雪寒冷仕様により路肩を広く確保しており、広い路側帯を活用した安全通行が有効と考えている。

対策

施設の不具合についての連絡を受けた場合は、速やかに現状確認を行い、適宜、補修や注意喚起をするなど対応している。バリアフリーについては順次、対応できる跨線橋やスロープの手すりの修理など、地元町会と協議を進めていく。

幌向駅のエレベーター設置については、バリアフリー法の改正などで利用人数の下限値が下がり、JR北海道と連携できるような状況になれば設置を検討したい。



一般質問の録画映像  
をYouTubeで公開  
しています



一般質問：松本議員

道路交通法改正に対する  
岩見沢市の対応について

自転車通学時のヘルメットの  
着用については教育委員会としてイ  
ニシアチブをとり進めていくべきと  
考えるがどうか

【教育長】 着用の規定は、小学校では自転車通学を認めている5校全てが義務として設け、中学校及び緑陵高校では規定は設けていないが着用の呼びかけを進めている。改正法施行前の昨年度から市内全学校に対して着用の周知を指示している。

4月以降は、改めて校長会議及び教頭会議において、着用を呼びかけるよう指導の徹底を求めるとともに、学校だより等を通じて日常的な着用について働きかけを行うなど、機運の醸成を図り、改正法に基づく交通安全教育の充実に努めている。

—— 自転車通学時に着用するヘルメットの補助金を出す制度の導入  
本年5月末現在、道内で助成を



会 日向 清一  
民優

行っている市はないものと聞いていますが、各市の動向等を踏まえて研究してまいります。

—— 道路交通法の改正により児童・生徒に対する交通安全意識の更なる高揚が必要と思われるが、どのような方策を考えているか

交通安全教育は、交通ルールや交通安全に関する知識を身に付け、自らが危険を予測し回避できる力を育むことが重要と考える。

緑陵高校では市内道立高校と連携して街頭での自転車マナー指導を実施。小中学校では自転車乗車指導や、警察や民間企業の協力による体験型の交通安全教室も実施している。

こうした事例を各校に普及啓発するなど、道路交通法の趣旨を踏まえ、自転車等の安全利用を含めた交通安全教育の一層の充実に努める。

一般質問の録画映像  
をYouTubeで公開  
しています



一般質問：日向議員



市民クラブ  
武田 貞行

新交通システムの  
実証実験について

北村地区での冬期間試験の  
内容と成果

【市長】豪雪地帯である岩見沢での社会実装を見据え、昨年12月22日から24日、北村支所周辺に2つのコースを設定し走行実証を行った。積雪地域での走行実績がほとんどないことから、車両メーカーの本国であるフランスに走行状況を随時送りながら、路面の積雪状況の変化等に合わせ設定変更を行うなど、貴重な実証データを取得できた。

なお、走行実証に加え、北海道大学COI-NEXT関係者との協調のもと、デイサービス利用者を対象に停車中の車両を用いて、健康や美容に関するヘルスケアサービスを実施したところ、普段利用できないサービスであると高い評価をいただいた。

実装に向けた考え

4月の道交法改正により可能となった遠隔監視型の自動運転サービスが実現できれば、実証を進めている農業機械の遠隔監視を合わせた新たなビジネスモデル創出も期待できるほか、今回の実証で行ったヘルスケアサービスとの組み合わせなど、地域が抱える複数の課題を解決する仕組みとして有用性が広がるものと期待している。今回の実証は、将来の事業化を見据え、進出予定を含む地元企業を中心に構成するコンソーシアムが主体となり、ハイヤー協会等と連携しながら、道の補助「北海道デジタルチャレンジ推進事業」選定のもと実施したが、本年度もコンソーシアムによる走行実証が予定されており、関係企業や大学等と協調しながら、遠隔監視に関する技術的な実証はもとより、事業性の確立や複合的サービスの可能性評価など社会実装に向けた取組を進めていく。

一般質問の録画映像  
をYouTubeで公開  
しています



一般質問：武田議員



みどりの会  
河合 清秀

定住人口減少への  
対策について

出生数の極端な減少への対策

【市長】総合戦略策定当初から掲げている、女性と子育てに日本で一番快適なまちの実現に向け、子ども・子育てで広場えみふるを中核とした、生まれる前から切れ目なく、子供が健やかに成長し、安心して子育てができる環境づくりに努めるとともに、健康経営都市の推進や、ICT基盤を活かした雇用の創出など、新しい人の流れをつくり、経済力を高めることも含めた様々な施策をバランスよく展開する総合的なまちづくりを進めており、北海道大学COIとの協働により低出生体重児の減少という具体的な成果も出ている。

将来の人口推計と市の捉え方

第1期総合戦略の開始以降は、施策の効果もあり、転出超過数の抑制が図られており、現在の人口減の要因は出生数の低下による

自然減にシフトしている。令和2年の国勢調査における当市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所が推計した7万8千591人を75人上回る7万9千306人となり、人口ビジョンで掲げた高い目標値である7万9千448人にも近く、人口減少は相当程度抑制されているとの結果が出ている。

人口減少に対する対策

各種施策により人口減少の抑制を図るだけでなく、人口減少に適応した、効率的で利便性の高いまちづくりを進めていくことがより重要と考えている。特に社会動態においては14歳以下の子供とその親世代に相当する30代において顕著な改善が見られ、若い世帯が住みたくなくなる施策や働く場所の確保も含め、総合戦略の中でしっかりと取り組んでいる。

一般質問の録画映像  
をYouTubeで公開  
しています



一般質問：河合議員



市民クラブ  
木村 光宏

複数の管理者による  
道路施設の管理状況について

上幌向人道跨線橋と幌向人道  
跨線橋の管理区分等

【市長】 人道跨線橋から国道北側の昇降棟で国道の歩道橋に接続する部分までは、歩行者専用線として市道認定しており、岩見沢市が道路として管理をしている。国道部分の歩道橋については、国道に対する横断歩道橋という扱いで札幌開発建設部が管理を行っており、人道跨線橋と接続している橋上駅については、JR北海道が管理をしている。

点検や地元要望に対する維持  
補修

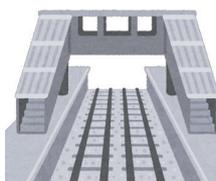
道路法では関係する法令などにより、橋梁については5年に1回の定期点検が義務付けられている。

両跨線橋、歩道橋を含め、過去に2回点検を実施し、上幌向では4段階の判定区分で一番良好なⅠ区分で健全と判定されている。幌向では、

歩道橋側でⅡ区分の予防保全段階と判定され、上屋の一部に経年劣化による傷みが見受けられるが、その他の部材は健全であり、道路としての機能に支障がない状態である。

道路の補修に関する要望は、上幌向地区、幌向地区ともに、人道跨線橋以外にも、多数の要望が寄せられており、損傷度合いの酷いものから順次対応しているところである。

人道跨線橋の補修については、国道の歩道橋と一体的に対応する必要があるものは、事業費規模も大きくなることも想定され、札幌開発建設部と財源の確保や実施時期を調整しながら進めることになるが、軽微な修繕であれば、それぞれの地域の道路全体の修繕工事のなかで対応していく。



一般質問の録画映像  
をYouTubeで公開  
しています



一般質問：木村議員

部活動の地域移行について

指導者の確保

【教育長】 指導を望む教員、各競技団体やクラブの指導者、PTAや大学生など、幅広い地域人材の活用を想定し、指導者登録等を検討する中で対応していく。

活動の確保と生徒の移動手段の確保

拠点となる学校での活動を基本とし、拠点以外の施設等の活用も含めて検討すべきものと考えている。移動手段については、他市の状況も参考にしながら、検討していく。

費用負担の軽減

保護者負担が原則と考えるが、負担が高額になると、部活動に参加できない子どもが増えるため、今後の課題として検討していく。

教育的指導

部活動は教育的意義の高い活動であり、部活動に携わる全ての指導者



市民クラブ  
坂井 秋子

への研修を実施する等、教育的意義の継承に向けた取組を進めていく。

拠点校方式によるサッカーチームの問題点や課題点、メリット  
現段階の課題として、移動に関する保護者負担が大きい、指導者となる教員が勤務時間の都合で開始時間に集まることが難しい、さらなる指導者の発掘等があると考えている。

また、複数校が集まるメリットについては、サッカー部の無い学校からも参加できる、より高いレベルを目指す者や純粋にサッカーを楽しみたい者など、目的に応じた4つのカテゴリーにより、子どもの希望に応じた参加が可能になった、仲間が多く練習意欲も高い等のメリットが表れている。

この拠点校方式の部活動をきっかけとして、多くの地域人材が支える部活動への移行を進めたいと考えており、地域のスポーツや文化芸術の環境充実に取り組んでいく。

一般質問の録画映像  
をYouTubeで公開  
しています



一般質問：坂井議員



市民クラブ  
新井 優也

岩見沢市の除排雪体制について

排雪路線情報の早期周知

【市長】排雪路線の選定にあたっては、初めから路線ごとに排雪の順番や回数を決めていく訳ではなく、バス路線の拡幅を最優先としていることで、路線バスの運行管理者と随時連絡を取り合いながら進めている。実際、降雪が続く道路の状態が刻々と変わる状況では、早朝から職員による路線パトロールを行い、前日の正午過ぎに次の日の排雪路線を決定していることが多く、さらに、バスの運休が発生している場合は、急遽、その日の早朝に排雪路線を変更する場合もある。

また、過去には、前日に翌日の排雪路線を公表したところ、路線に大量の雪が出されるケースが頻発したことで、予定していた排雪が終わらないなど、大きな支障が生じた経験もあり、提案にあった前々日の排雪

路線公開という対応は困難である。

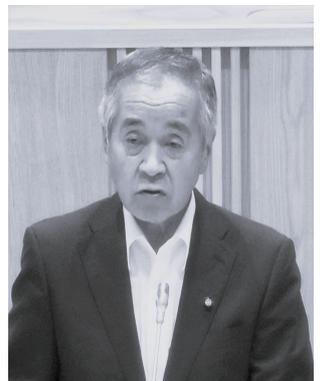
夜間除雪情報のリアルタイム配信

令和3年度から未除雪路線の雪割り作業以外にもICTを活用した作業ができないか、デジタル化した道路台帳図のデータを基に実証実験を行い、最終的には市の全ての除雪車の位置情報が把握できるシステム構築を目指しており、除排雪対策本部や除雪業者間の情報共有に活用することで、正確な情報が把握でき、技術の継承にも大いに役立つものと考えているが、市民向けに除雪状況を除雪車単位でリアルタイムに配信することは、除雪車の運転手に必要以上のストレスがかかること、個人的な問合せ等への対応が増えることが想定されるなど、運転手や担当者の負担が増える要因が大きいことから課題も多く、難しいと考えている。

一般質問の録画映像  
をYouTubeで公開  
しています



一般質問：新井議員



日本共産党議員団  
山田 靖廣

教職員の働き方改革について

文部科学省の教員勤務実態調査

【教育長】この調査と同時期における教職員の超過勤務の実態については、小中学校の平均時間外在校等時間は、8月が20時間12分、10月が31時間52分、11月が26時間48分となっており、時間外在校等時間が80時間を超える教員については、3か月の平均で9人という状況である。

持ち帰り業務の実態については、基本的に校長などの管理職から持ち帰り業務を指示することは無く、外形的に確認することは困難であり、実態については把握していない。勤務時間や超勤時間は、出勤システムにより管理を行っており、管理職が教職員の勤務状況を把握しながら学校運営を行っている。

また、有給休暇の取得状況については、令和4年度における平均の取得日数が、小学校で14日、中学校で

11日となっている。

なお、教育委員会では、令和3年10月に策定した第2期の岩見沢市立学校における働き方改革行動計画において、時間外在校等時間の縮減を目標に掲げており、校務支援システムの活用による校務の効率化や部活動の地域移行による業務負担の軽減などを通じて、学校における働き方改革を推進していく。



一般質問の録画映像  
をYouTubeで公開  
しています



一般質問：山田議員



公明党  
齊 須 正 友

企業の奨学金

返還支援について

企業等への周知

【市長】 独立行政法人日本学生支援機構の奨学金は、令和3年度より、その返還を雇用主が肩代わりする場合、本人を通さずに直接返還することが可能となるとともに、社会保険料や所得税の負担が軽減されるよう、取扱いが改められたものである。

これにより、長期にわたる返還が重荷となり、生活面への影響や将来への負担が大きいう課題の解消につながる。企業にとっても、優秀な人材の確保につながる。企業が期待されるものであるが、その一方で、企業側の認知度が高まっていないという課題があるものと認識している。

自治体による奨学金返還支援制度の創設

さつぽろ連携中枢都市圏において、当市も含めた圏域12市町村に所

在する中小企業等に就職する学生を対象とする奨学金返還支援補助事業を実施している。

この事業は、学生が就職して1年経過した時から補助が開始され、その金額は最大3年間で54万円となっており、勤務する企業については、あらかじめ認定を受けた上で、返済支援額の2分の1相当の負担が生じることとされている。

なお、当市におけるこれまでの実績は、令和3年度3名、令和4年度1名の計4名となっている。

企業による代理返還の取組や、当市のさつぽろ圏奨学金返還支援補助事業は、いずれも勤務先企業の負担について、協力いただく必要がある。これらの制度の理解が深まり、活用へとつながるよう、商工会議所等の関係団体と連携し、周知を図っていきたいと考えている。



公明党  
猪 口 満 雅

車椅子対応の

市営住宅について

入居状況

【市長】 入居できる世帯要件が、身体障害者手帳の等級で1級から4級に該当し、日常生活において車椅子が必要である方を対象とした身体障がい者向け住宅として、志文町にあるこぶし団地内に1棟20戸を管理しており、入居状況については、平成30年度から令和4年度までの直近5か年で、入居が2世帯、退去が4世帯と退去の方が多く、現在は、20戸のうち16戸に入居しており、入居率にすると80パーセントとなっている。

入居者からの要望は届いているか

身体障がい者向け住宅は、昭和53年に建設され、45年が経過していることから経年劣化が進んでおり、水回りの漏水、建具の不具合、玄関扉の調整、及び床材の劣化等、様々な

要望が届いている。

これまで、共用玄関の自動ドアの設置や1階通路ドアの改修など、費用が高額な修繕は年次的な計画により進めるとともに、生活上で支障が出ている簡易な修繕については、随時対応しており、今後も入居されている方の要望を伺いながら、状況に応じた対応を行っていく。

老朽化に伴う、改修・建て替えの考えはあるか

身体障がい者向け住宅の将来的な整備の方向性としては、人口減少による将来需要の減少を見据え、市営住宅全体のニーズの把握と現状を分析した中で、必要に応じて改修工事等を進めるよう考えている。



一般質問の録画映像を

YouTubeで  
公開しています



一般質問：齊須議員

一般質問の録画映像を

YouTubeで  
公開しています



一般質問：猪口議員



日本共産党議員団  
上田 久司

少子化対策の  
さらなる取組について

国民健康保険料の子どもの均  
等割の減免

【市長】 現制度では、低所得者の均等割額・平等割額の7割、5割、2割を軽減する措置があり、令和4年度の算定においては、1万925世帯のうち7千359世帯、約67パーセントの世帯がいずれかの軽減措置の対象となっている。さらに、今年度は物価高騰の折、所得割・均等割・平等割の料率を政策的に据置くとともに、国民健康保険法施行令の改正に伴い5割及び2割の軽減判定の基準を引き上げ、加入者への負担軽減を図っているところであり、新たに独自軽減策を講ずることは考えてない。

教育費の負担軽減と奨学金制  
度の改善

【教育長】 6月13日に閣議決定された、こども未来戦略方針において、高等教育費の負担軽減策が示されて

いるとともに、経済財政運営と改革の基本方針2023においても、奨学金制度の充実など、政府を挙げて取り組んでいくと記されていることを踏まえ、当面は具体的な政策の実現を見守っていくべきものと考えている。

学校給食の無償化

学校給食法の原則に基づき、適正な食材購入費を保護者に負担いただくことを基本に、急激な物価高騰への対応など、あくまで緊急的な取組として行うものと考えている。また、財源確保の目的が無く、継続的に実施していくことは、他の子育て支援事業に影響することにもなりかねないため、あくまで法の原則に基づき対応していくものと考えている。



一般質問の録画映像を

YouTubeで  
公開しています



一般質問：上田議員



民優会  
大和 勝

高齢者のより暮らしやすい  
環境の整備について

第8期介護保険事業計画の整備

状況、また基幹の地域包括支援センターの役割変更、岩見沢市東地区地域包括支援センター創設による効果

【市長】 第8期岩見沢市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画では、認知症対応型共同生活介護事業所が1施設18床、小規模多機能型居宅介護事業所が1事業所定員29名の施設を整備することとしており、ともに令和5年3月に整備が完了し、介護を必要とする高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境を更に充実させた。

次に、市直営の地域包括支援センターでは、これまで行ってきた個別の相談支援業務やケアプラン作成業務の機能を、昨年10月に創設した東地区地域包括支援センターに引き継ぎ、基幹型地域包括支援センターとして個別支援から地域支援への体制

整備を中心に行う業務に移行した。

基幹型地域包括支援センターでは、東地区地域包括支援センターを含む市内4か所の地域包括支援センター間の総合的な調整、処遇困難ケースへのアドバイスなどの後方支援を行うとともに、多職種が連携し協働を目指す自立支援型地域ケア会議の開催や、市民に認知症に関する理解を深めていただくための相談会、認知症本人の交流やボランティアの育成支援といった認知症施策の推進など、地域包括ケアシステムの深化を図るための取組や施策の展開等を推進している。

今後においても、基幹型地域包括支援センターを中心として、より一層の支援体制の充実や機能強化を図ることで、高齢者が住み慣れた地域で共に支え合い、生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの実現を目指していく。

一般質問の録画映像を

YouTubeで  
公開しています



一般質問：大和議員

## 令和5年第2回臨時会（5月16日）審議結果

## ○議長の選挙、常任委員会の委員の選任などについて

議案番号	件名	審議結果
選挙第1号	議長の選挙	当選 (峯 泰教)
選挙第2号	副議長の選挙	〃 (野尻 清)
選任第1号	常任委員会委員の選任	選任
選任第2号	議会運営委員会委員の選任	〃
選挙第3号	桂沢水道企業団議会議員の選挙	当選 (猪口 満雅 坂井 照美 武田 貞行 豊岡 義博)
選挙第4号	空知教育センター組合議会議員の選挙	〃 (宮下 透)
選挙第5号	岩見沢地区消防事務組合議会議員の選挙	〃 (猪口 満雅 枝廣 晴基 木村 光宏 坂井 照美 平野 義文 松本 一郎 山田 靖廣)
選挙第6号	南空知ふるさと市町村圏組合議会議員の選挙	〃 (峯 泰教)
議案第32号	監査委員の選任について	同意 (伊澤 幸信)
決議案第2号	閉会中の所管事務調査について	原案可決

## 令和5年第2回定例会（6月19日 ▶ 6月30日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第33号	令和5年度岩見沢市一般会計補正予算について(第3号)	原案可決
議案第34号	岩見沢市税条例の一部改正について	〃
議案第35号	岩見沢市子ども・子育て会議条例等の一部改正について	〃
議案第36号	岩見沢市福祉医療費助成に関する条例の一部改正について	〃
議案第37号	工事請負契約の締結について(令和5年度除雪機械車庫新築工事)	〃
議案第38号	市道路線の認定及び廃止について	〃
議案第39号	令和5年度岩見沢市一般会計補正予算について(第4号)	〃

議案番号	件名	審議結果
議案第40号 ～ 議案第75号	農業委員会の委員の任命について【岩瀬孝雄氏・志賀野敏氏・柿崎壽恵子氏・森田孝洋氏・佐々木利夫氏・今野幸広氏・戸田憲一郎氏・平義昭氏・日笠和良氏・米内山裕子氏・尾田憲朗氏・留木剛氏・干場克二氏・定塚光晴氏・西村昭寿氏・杉村幸浩氏・吉成朗氏・伊藤俊春氏・坂野博之氏・高嶋佳代氏・瀧本勝範氏・森一男氏・久保智則氏・井川和也氏・東秋徳氏・黒島勝美氏・澁谷豊氏・長井孝之氏・松田幸児氏・松永有平氏・山田辰弘氏・引頭一宏氏・川北敏充氏・高田勝彦氏・長森睦氏・近藤良介氏】	同意
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について【山崎優氏】	〃
意見書案第2号	農畜産物の安全性並びに生産継続のための防疫の徹底について	原案可決
意見書案第3号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化について	〃
意見書案第4号	義務教育費国庫負担制度拡充について	〃
意見書案第5号	薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取組体制の強化について	〃
意見書案第6号	学校給食の無償化について	〃
決議案第3号	新病院建設特別委員会の設置について	〃
決議案第4号	総合戦略特別委員会の設置について	〃

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第2回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配付されました。

■ 国に対し、適格請求書等保存方式（インボイス制度）の延期・見直しを求める陳情書

多くの議員の皆様からのご推挙をいただき、伝統ある岩見沢市議会の副議長という重責を担うことになりました。心から厚くお礼を申し上げます。大変光栄なことであり、身の引き締まる思いであります。



副議長 野尻 清

岩見沢市政におかれましては、少子高齢化や人口減少の加速化などへの対応をはじめとする、いまだ多くの課題が山積しております。市民の皆様からの声をしっかりと受け止め、市の施策に十分反映するため、議員皆様方並びに市長をはじめ理事者の皆様方のさらなるご指導をお願いいたします。副議長就任に当たらせていただきます。

議長に選出賜りまして、誠にありがとうございます。皆様の想いをしっかりと受け止めて、真の議長になるために精いっぱい精進してまいります。よろしくお願い申し上げます。



議長 峯 泰教

定数22名に対して28名が立候補する、非常に厳しい選挙戦の一方、投票率は過去最低でありました。これ以上、市民の気持ちを離さぬよう常に変化し続け、情報を発信し続ける議会づくりを目指してまいります。また、委員会主義を採用する岩見沢市議会において、委員会の充実が極めて大切であります。理事者との質疑応答、議員間討議などを通して、議論する議会を目指します。以上、議長選任のごあいさつとさせていただきます。

正副議長就任あいさつ

(於 第2回臨時会)

